

图书在版编目 (CIP) 数据

日本名作高效阅读 / (日) 平野芳己; 吴小瑾, 吴珺编著。
—北京: 中国宇航出版社, 2004.5
ISBN 7-80144-791-3

I. 日... II. ①平...②吴...③吴... III. 文学—作品—简介—日本 IV. I313.11
中国版本图书馆CIP数据核字 (2004) 第025928号



日本名作高效阅读

日本の名作を一日で読んでしまおう

出版
发行

中国宇航出版社

社址 北京市阜成路8号 邮编 100830

电话 (010)68768548

网址 www.caphbook.com/www.caphbook.com.cn

经销 新华书店

发行部 (010)68371900 (010)88530478(传真)

(010)68768541 (010)68767294(传真)

零售店 读者服务部 北京宇航文苑

北京市阜成路8号 北京市海淀区海淀大街31号

(010)68371105 (010)62579190

承印 北京飞达印刷有限责任公司

排版 北京京科印刷有限公司

版次 2004年6月第1版 2004年6月第1次印刷

开本 1/32 规格 850×1168

印张 12 字数 295千字

书号 ISBN 7-80144-791-3/H·142

定价 21.80元

本书如有印装质量问题可与发行部调换

前 言

我们生活在一个忙忙碌碌的现代社会里，这使我们经常为没有时间去阅读名著而感到无奈。而对阅读名著的向往，又似乎是我们本然的求知欲望之一。为了满足生活在忙碌社会中的日语学习者们阅读日本名作的需求，我们特编写了此书。

此书共分四个部分：一、故事篇，二、小说菁华篇，三、古典随笔篇，四、诗歌篇。每篇作品部分都附有译文，即使不懂日语者，也可通过译文来欣赏书中名作。此外，为了便于广大日语学习者自学，书中所有日文汉字都标了假名。对个别难词，还加了注释。

该书由吴小瑾提出全书设想，由平野芳己、吴珺、吴小瑾共同执笔编写。三位编著者分工如下：吴珺负责故事篇和古典随笔篇，吴小瑾负责诗歌篇，平野芳己负责小说篇。其中，平野芳己又同时负责了各个部分的日文解说和作者介绍部分，而小说篇的译文部分由吴小瑾和吴珺经过反复切磋共同完成。两人为了译好每一篇作品，让译文本身也具备欣赏价值，连续数日，同吃同住，通宵达旦，终于使译文达到了自己基本满意的程度。因为是文学作品的翻译，很多地方采取的都不是直译的方法，这点希望读者在对照阅读时注意。特别是诗歌篇的翻译，同样一首诗，可以有很多不同的译法，所以本书中暂且将其称之为“试译”。

在这里特别值得一提的是平野芳己在此书编写过程中所付出的巨大努力。为了达到本书的编写要求,他两次往返日本与中国之间,积聚他 26 年的日本高中国语教师经验,将 27 篇之多的古代和近现代具有代表性的小说缩写成二三千字的作品。作品既保留了原作的创作风格,又能够使读者在很短时间内了解作品的主要内容,让你读后能够禁不住对日本文学产生浓厚兴趣。

此书的编写目的其实还不止是为了引起读者们对日本文学方面的兴趣,更希望通过广泛阅读各类作品来加深对日本社会各个层面以及对日本人本身的理解。当然同时也希望您能在阅读过程中体会到阅读的无上快乐。

此书编写过程中还得到了北京语言大学外国语学院日语专业任娟、程莹、王维凤、陶延研、巫晓彬、陶莹以及北京大学博士研究生木之下章子小姐的大力协助,在此一并表示感谢。

吴小瑾

二〇〇四年三月于北京

目 录

故事篇

1. 鼠の嫁入り 3
 译文:老鼠嫁女
2. 浦島太郎 9
 译文:浦島太郎
3. 養老の滝 16
 译文:养老瀑布
4. 相撲取りの狸 21
 译文:爱好相扑的狸
5. 毒入りのご馳走 26
 译文:掺了毒的佳肴

小说菁华篇

1. 源氏物語(夕顔の巻)..... 33
 译文:源式物语(夕顔卷)
 解说
2. 平家物語(敦盛の最期)..... 43
 译文:平家物语(敦盛之死)
 解说

3. 北越雪譜(鈴木牧之)…………… 50
 译文:北越雪谱(铃木牧之)
 解说
4. 舞姫(森鷗外)…………… 60
 译文:舞姬(森鷗外)
 鉴赏与解说
5. 高瀬舟(森鷗外)…………… 70
 译文:高濑舟(森鷗外)
 鉴赏与解说
 森鷗外について
6. 金色夜叉(尾崎紅葉)…………… 79
 译文:金色夜叉(尾崎红叶)
7. 金色夜叉(名場面、尾崎紅葉)…………… 87
 译文:金色夜叉名段(尾崎红叶)
 鉴赏与解说
 尾崎紅葉について
8. 高野聖(泉鏡花)…………… 99
 译文:高野山的圣人(泉鏡花)
 鉴赏与解说
 泉鏡花について
9. 野菊の墓(伊藤左千夫) …… 110
 译文:野菊之墓(伊藤左千夫)
 鉴赏与解说
 伊藤左千夫について
10. 破戒(島崎藤村) …… 119
 译文:破戒(岛崎藤村)
 鉴赏与解说
 島崎藤村について
11. 三四郎(夏目漱石) …… 129

- 译文:三四郎(夏目漱石)
鉴赏与解说
12. それから(夏目漱石)…………… 138
译文:那以后(夏目漱石)
鉴赏与解说
13. こころ(夏目漱石)…………… 147
译文:心(夏目漱石)
鉴赏与解说
夏目漱石について
14. お目出たき人(武者小路実篤)…………… 157
译文:乐天派(武者小路实笃)
鉴赏与解说
15. 友情(武者小路実篤)…………… 166
译文:友情(武者小路实笃)
鉴赏与解说
16. 愛と死(武者小路実篤)…………… 174
译文:爱与死(武者小路实笃)
鉴赏与解说
武者小路実篤について
17. 羅生門(芥川龍之介)…………… 183
译文:罗生门(芥川龙之介)
鉴赏与解说
18. 奉教人の死(芥川龍之介)…………… 192
译文:奉教人之死(芥川龙之介)
鉴赏与解说
芥川龍之介について
19. カインの末裔(有島武郎)…………… 203
译文:该隐的后代(有岛武郎)
鉴赏与解说

有島武郎について

20. 恩讐の彼方に(菊池寛) 213
译文:超越恩仇(菊池寛)
鉴赏与解说
菊池寛について
21. 蠅(横光利一) 224
译文:苍蝇(横光利一)
鉴赏与解说
横光利一について
22. セメント樽の中の手紙(葉山嘉樹) 234
译文:水泥桶里的信(叶山嘉樹)
鉴赏与解说
葉山嘉樹について
23. 春琴抄(谷崎潤一郎) 243
译文:春琴的故事(谷崎潤一郎)
鉴赏与解说
谷崎潤一郎について
24. なめとこ山の熊(宮沢賢治) 253
译文:滑床山的熊(宫泽贤治)
鉴赏与解说
宮沢賢治について
25. 走れメロス(太宰治) 264
译文:飞奔吧!梅洛斯!(太宰治)
鉴赏与解说
太宰治について
26. プルートーのわな(安部公房) 274
译文:普鲁托的陷阱(安部公房)
鉴赏与解说
27. 砂の女(安部公房) 282

译文:沙穴里的女人(安部公房)

鉴赏与解说

安部公房について

古典随笔篇

- | | |
|--------------|-----|
| 1. 枕草子(清少納言) | 293 |
| 現代語訳 | 294 |
| 译文 | 295 |
| 解说 | 296 |
| 2. 方丈記(鴨長明) | 297 |
| 現代語訳 | 297 |
| 译文 | 298 |
| 解说 | 298 |
| 3. 徒然草(吉田兼好) | 300 |
| 現代語訳 | 300 |
| 译文 | 301 |
| 解说 | 301 |

诗歌篇

- | | |
|-------------------------|-----|
| 1. 芭蕉の俳句(一) | 305 |
| 2. 芭蕉の俳句(二) | 311 |
| 3. 芭蕉の俳句(三) | 315 |
| 4. 芭蕉の俳句(四) | 319 |
| 5. 与謝野晶子の短歌 | 324 |
| 6. 君死にたまふことなかれ(詩、与謝野晶子) | 330 |

現代語訳

试译:你不能死(与谢野晶子、诗歌)

鉴赏与解说

与谢野晶子について

7. 石川啄木の短歌(一) 339
8. 石川啄木の短歌(二) 344
9. 石川啄木の短歌(三) 348
- 石川啄木について
10. 雨二モマケズ(詩、宮沢賢治) 353
- 平假名版本
- 译文:我的心愿(宫泽贤治)
- 鉴赏与解说
- 附:作者略歴一覽 360

故

事

篇



第1篇

やずみ よめい 鼠の嫁入り

むかし、ある家の倉いえ くらに、お金持ちかねもの鼠ねずみが、お嫁さんよめと二人ふたりで
す
住んでいました。

お米こめも、麦むぎも、アワあわも、豆まめも持ち、たいそうゆた豊かな生活せいかつをし
ていました。ところがこま困ったことに、この鼠ねずみには子供こどもがありませんでした。

そこで、二人は神様かみさまのところいへ行って、「どうか、子供こどもを授け
てください」と頼たのみました。

すると、まもなくかわいい女の赤ちゃんあかが生まうれました。
ふたり およろこ
二人は大喜びでその子鼠こねずみを大事だいじに大事だいじに育てました。

子鼠こねずみはすくすく大きくなって、鼠ねずみの国くにで一番いちばんの美うつくし
い娘むすめになりました。お父さんとうもお母さんかあも嬉うれしくて、いつも
むすめ じまんばなし
娘むすめの自慢話じまんばなしをしています。

「こんなきれいな娘むすめの婿むこさんになるような鼠ねずみは一人ひとりもいま
せんよ」とお母さんかあがいました。「そうとも、うちの娘むすめは世
かいいち むこ
界かい一いちのお婿むこさんでなくちゃ」とお父さんとうがいました。



ふたり そうだん せかい いちばんえら せかいじゅう て
二人は相談して、世界で一番偉いのはいつも世界中を照ら
ひさま おも さんじん そら のぼ
しているお日様だと思いました。そこで、三人は空へ昇って
いきました。

ひさま せかい いちばんえら かた わたし むすめ
「お日様、あなたは世界で一番偉い方です。どうぞ私の娘
よめ
をお嫁にもらってください」と丁寧ていねいに頼たのみました。すると、お
ひさま わら えら もの
日様はにこにこ笑わらって、「いや、わたしより、もっと偉い者がい
るよ」と言いいました。

ひさま えら かた
「へえ、お日様より偉い方がいるのですか。それはいったい
どなたです」お父とうさんは目めを丸まるくして聞き返きかえしました。

くも がんば くも
「雲くもさんだよ。わたしがいくら頑がん張ばっても雲くもさんがでてきた
せかいじゅう て
ら、もう世界中を照らすことはできないからね」

ねずみ かんしん くも
「なるほど、そのとおりですね」鼠ねずみは感心かんしんして、雲くもさんの
ところ い
所へ行いきました。

くも くも せかい いちばんえら かた
「雲くもさん、雲くもさん、あなたは世界で一番偉い方です。どう
むすめ よめ
ぞ、わたしの娘をお嫁さんにもらってください」

くも くも かお
すると、雲くもさんは、曇かおった顔かおをして、「いや、わたしよりもっと
えら い とう
偉い者がいるよ」と言いいました。お父とうさんはまた目めを丸まるくし
て聞き返きしました。

くも えら かた
「へえ、雲くもさんより偉い方がいるのですか。それはいったい
どなたです」

かせ がんば かせ かな
「風かせさんだよ。わしがいくら頑がん張ばっても風かせさんには敵かなわな
ふ と
いよ。ぴゅっと吹き飛とばされてしまうからね」

第1篇 鼠の嫁入り



「なるほど、その通りですね」

そこで鼠の親子は、すぐに風さんの所へ行きました。「風さん、風さん、あなたは世界で一番偉い方です。どうぞ、わたしの娘をお嫁さんにもらってください」

「いや、わたしよりもっと偉いのがいるよ」と風さんが言いました。

「へえ、雲さんより偉い方がいるのですか。それはいったいどなたです」とお父さんはびっくりして聞きました。

「壁さんだよ。壁さんは、どっしり強くて、わたしがいくら強く吹いても、びくともしないからね。壁さんには敵わないよ」

「なるほど、そうですね」

鼠の親子は空からおりて、それから壁のところへ行って、「壁さん、壁さん、あなたが世界で一番偉い方とは知りませんでした。どうぞ、わたしの娘をお嫁さんにもらってください」と頼みました。すると、壁さんは不思議な顔をしていました。

「いや、わしよりもっと偉いものがあるよ」

「ええ、まだあなたより偉い方がいるのですか。いったい、それはどなたです」

「それは誰でもない。あなたたち鼠さんだよ。わしがいくらどっしり立っていても、ねずみさんの強い歯でがりがり穴をあ



けられてしまうからね」

「なるほど、そうでした。そうでした」と鼠のお父さんは何度
もうなずいてから、お母さんに言いました。

「やっぱり鼠が世界で一番偉いらしい。どうしていままでそ
のことに気が付かなかつたんだろう」

そして、家に帰ると早速、お隣の忠助鼠を娘のお婿さん
にしました。

若いお婿さんとお嫁さんは仲良く暮らして、お母さんとお
父さんを大事にしました。そしてたくさん子供を生んで、お倉
の鼠一家はますます栄えました。

【注 释】

アワ:谷子

たいそう:很,甚

さず
授ける:授予,赐给

じまんばなし
自慢話:吹牛,自负

よめ
お嫁さん:媳妇,新娘

むこ
お婿さん:女婿,新郎

て
照らす:照耀

め まる
目を丸くする:(吃惊得)瞪大眼睛

くも
曇る:模糊,暗淡

かな
敵う:敌得过,比得上